

防音ケーシング



ファン・ポンプなどの 機側透過音防音のための ケーシングあるいはカバー

小型のファンは消音チャンバ(吸音材内貼りボックス)形式のカバーになります。大型ファンの場合は、サイレントパネルを現場組立型とします。通常、換気口が必要になりますので、ここからの音漏れを防ぐため消音器を取り付けます。ファン防音カバーで見過ごされがちなのは、接続ダクトの透過音です。消音設計時にこの透過音を考慮して置く必要があります。

ポンプ防音カバーでは配管部分で隙間が出来易く、遮音度はやや低くなります。特定の方向への対策としては有効です。一般的にポンプ音のクレームは配管の振動に因るものが多く、これは防音カバーでは効果がありません。



ポンプカバー2種



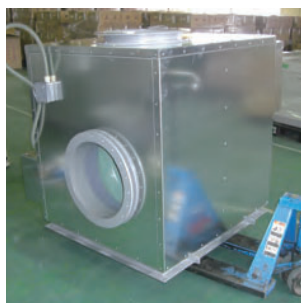
機械室内設置のファンへ防音ケーシング



ファン防音カバーと吐出消音器



大型ファンのカバー(上部は開放)



塩ビダクト接続用の
ファン防音ケーシング



ファン防音ケーシング
(側面はフィルタ付き給気口)



ファン防音ケーシング(大型のため現場組立タイプ)
屋根部には消音器付きの給排気口